

## 別府市に移住された方へのアンケート調査結果

調査目的： 移住者数、移住のきっかけ等の調査

調査対象： 別府市に移住された方(大学進学等の一時的な居住の方を除く。)

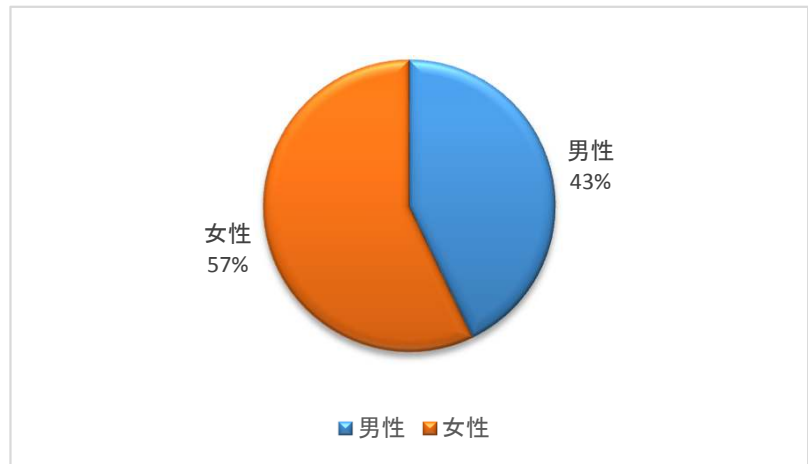
調査方法： インターネット上でのWEBアンケート

調査期間： 平成28年3月1日(火)～平成28年3月21日(月)

回答者数： 49名

### 問 1 あなたの性別について教えてください。

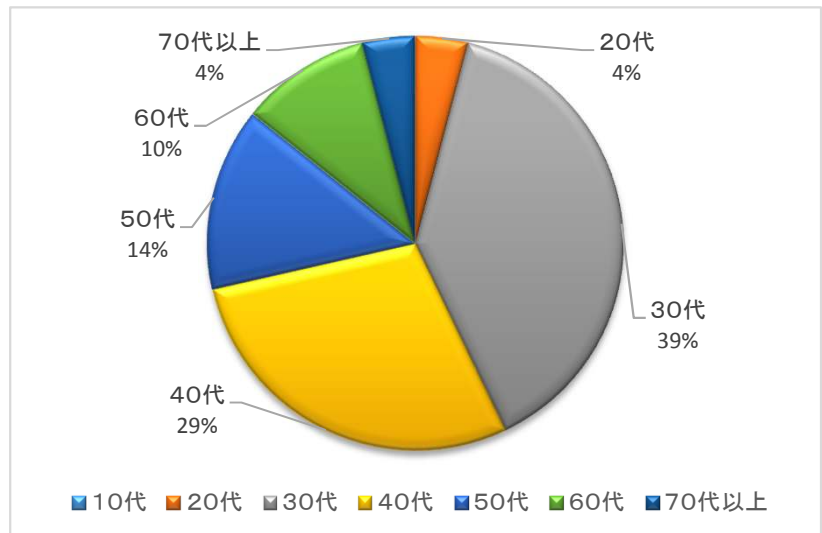
男性	21名
女性	28名



回答者の割合は「男性」43%、「女性」57%で、若干、女性の回答者数が上回っていた。

### 問 2 あなたの現在の年齢について教えてください。

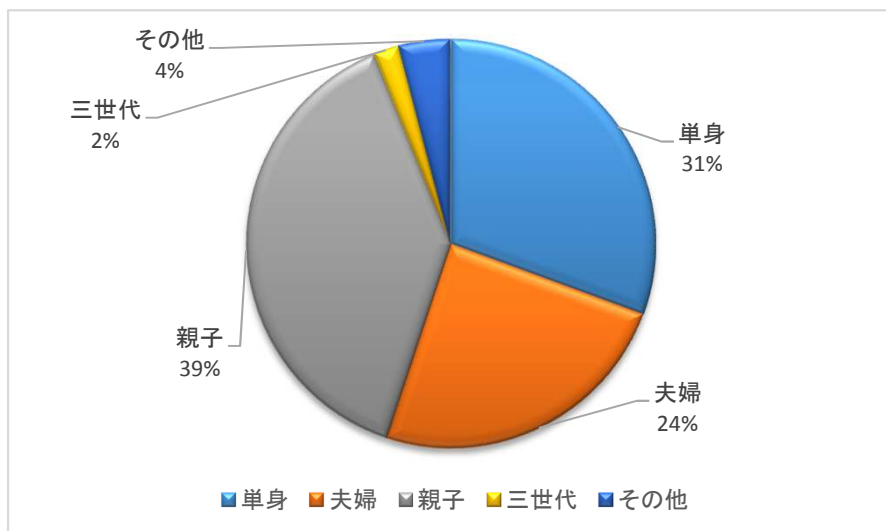
10代	0名
20代	2名
30代	19名
40代	14名
50代	7名
60代	5名
70代以上	2名



年代は「30代」、「40代」があわせて、68%となっており、過半数が30～40代からの回答となっている。

問 3 あなたの現在の家族構成を教えてください。

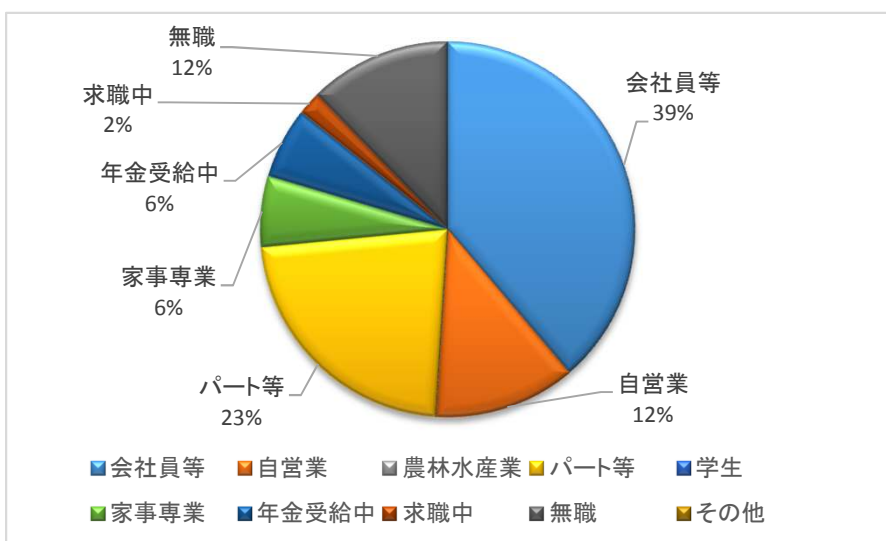
単身	15名
夫婦	12名
親子	19名
三世代	1名
その他	2名



現在の家族構成は、「親子」が最も多く39%、次いで「単身者」31%、「夫婦」24%、「その他」4%、「三世代」2%となっている。

問 4 あなたの現在の職業について、教えてください。

会社員等	19名
自営業	6名
農林水産業	0名
パート等	11名
学生	0名
家事専業	3名
年金受給中	3名
求職中	1名
無職	6名
その他	0名



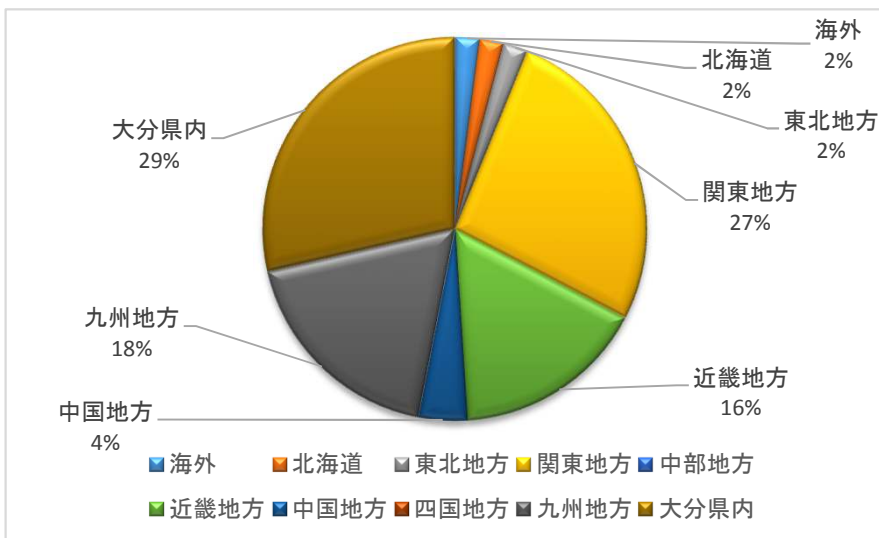
現在の職業は、「会社員・公務員等」が最も多く39%、次いで、「パート・アルバイト・派遣等」が23%となっている。

問 5 移住前に住まれていた都道府県を入力してください。

海外	1名
北海道	1名
東北地方	1名
関東地方	13名
中部地方	0名
近畿地方	8名
中国地方	2名
四国地方	0名
九州地方	9名
大分県内	14名

※

※大分県内を除く

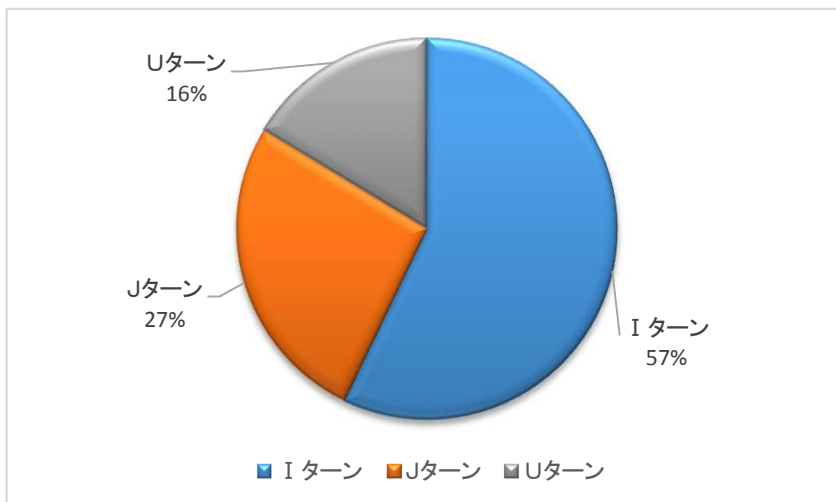


移住前の住所は「大分県内」が最も多く29%、次いで「関東地方」27%、「九州地方」18%となっている。「大分県内」を「九州地方」に含むと、23名(47%)となり、約半数が九州内からの移住となっている。(「大分県内」の内訳は大分市が12名と約85%を占めている。)

問 6 別府市への移住はいずれに該当しますか？

- ※ Iターン : 別府市及び大分県内には住んだことがない
- ※ Jターン : 大分県内に住んでいたことがある
- ※ Uターン : 別府市に住んでいたことがある

Iターン	28名
Jターン	13名
Uターン	8名

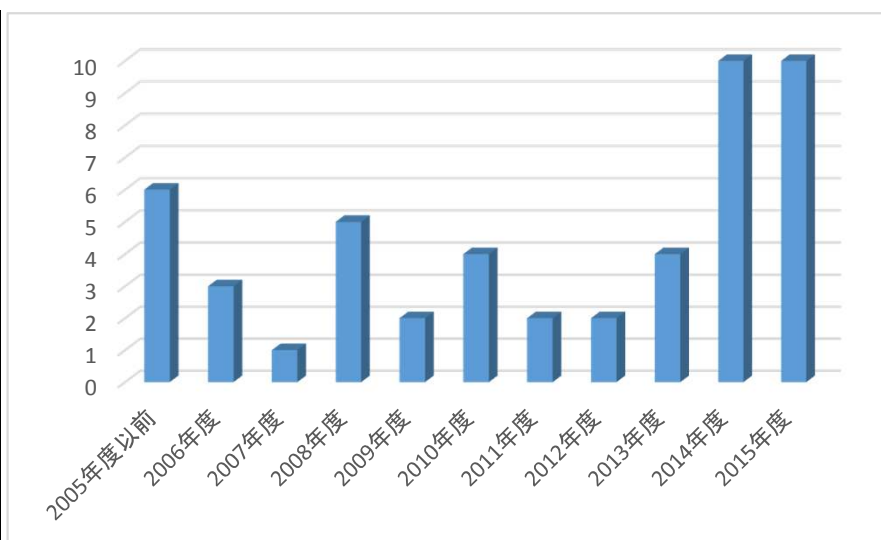


別府市への移住は「Iターン」の割合が最も高く57%、次いで「Jターン」27%で、「Uターン」16%となっている。

問 7 移住した時期を教えてください。

※進学、転勤の場合は当初の予定を越えた時期(ひとつを選択)

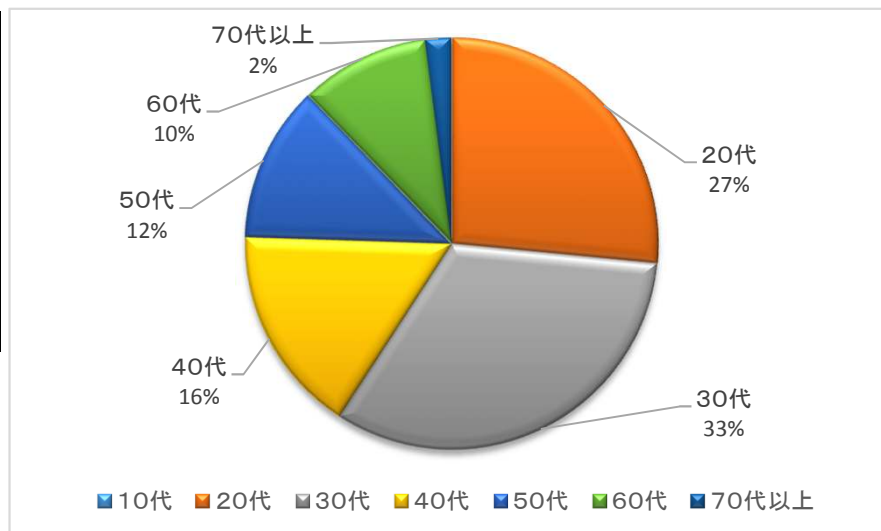
2005年度以前	6名
2006年度	3名
2007年度	1名
2008年度	5名
2009年度	2名
2010年度	4名
2011年度	2名
2012年度	2名
2013年度	4名
2014年度	10名
2015年度	10名



移住の時期は、「2015年度」及び「2014年度」が10名ずつで最も多く、2年以内の移住者が20名(40%)となっている。2006年度～2015年度の計は43名で、回答者の約88%が10年以内の移住者となっている。

問 8 移住した時の年齢について教えてください。

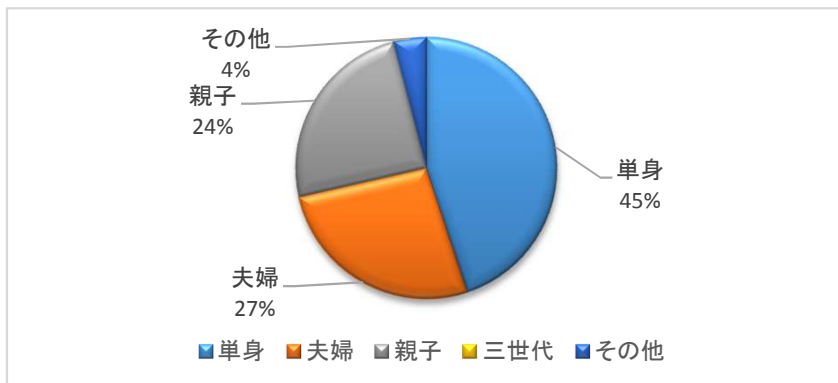
10代	0名
20代	13名
30代	16名
40代	8名
50代	6名
60代	5名
70代以上	1名



移住時の年代は、「30代」が最も多く33%、次いで「20代」27%となっており、あわせると、回答者の60%が20～30代で別府に移住している。

問 9 移住した時の家族構成を教えてください。

単身	22名
夫婦	13名
親子	12名
三世代	0名
その他	2名

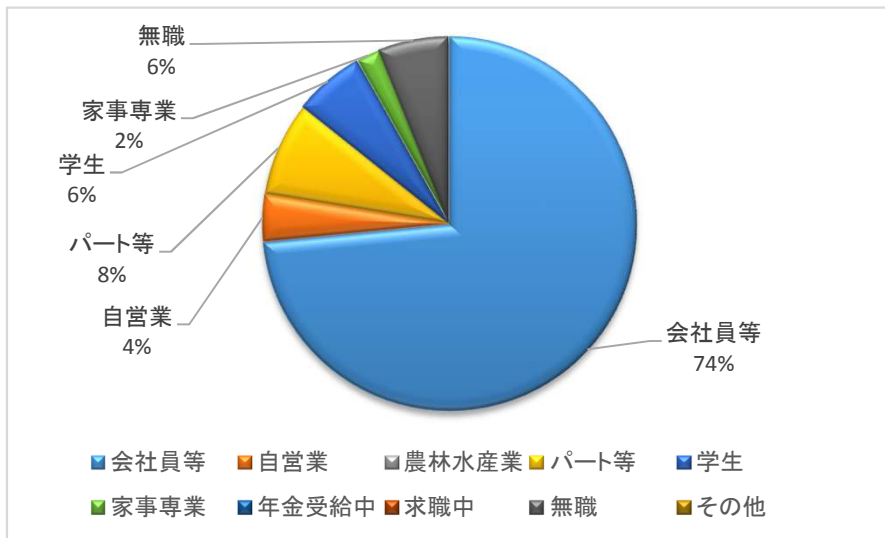


移住した時の家族構成は、「単身」が最も多く45%、次いで「夫婦」27%となっており、【設問3】の現在の家族構成とは変化が見られる。

	移住時	現在	増減
単身者	45%	31%	-14%
夫婦	27%	24%	-3%
親子	24%	39%	15%

問 10 移住する前の職業について、教えてください。

会社員等	36名
自営業	2名
農林水産業	0名
パート等	4名
学生	3名
家事専業	1名
年金受給中	0名
求職中	0名
無職	3名
その他	0名

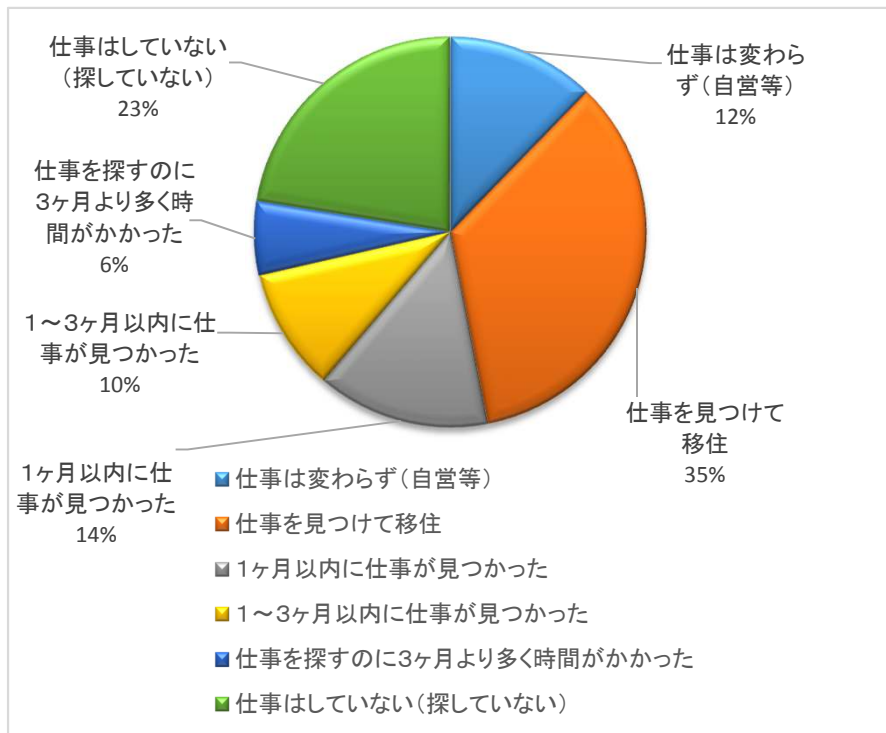


移住する前の職業は、「会社員・公務員等」が最も多く74%、次いで「パート・アルバイト・派遣等」が8%となっており、【設問4】の現在の職業とは変化が見られる。

	移住時	現在	増減
会社員等	74%	39%	-35%
自営業	4%	12%	8%
パート等	8%	13%	5%
家事専業	2%	6%	4%
年金受給中	0%	6%	6%
無職	6%	12%	6%

問 11 移住する前後の就業状況について、教えてください。

仕事は変わらず(自営等)	6名
仕事を見つけて移住	17名
1ヶ月以内に仕事が見つかった	7名
1～3ヶ月以内に仕事が見つかった	5名
仕事を探すのに3ヶ月より多く時間がかかった	3名
仕事はしていない(探していない)	11名



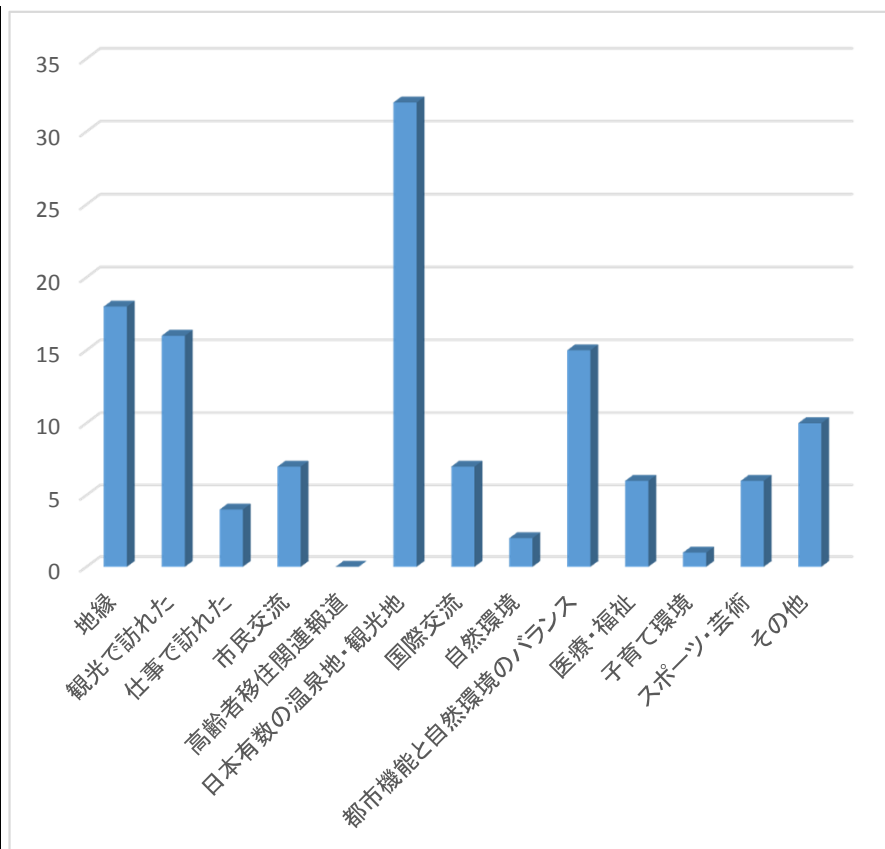
「仕事を見つけてから移住した」と回答した方が最も多く35%、次いで、「仕事はしていない」と回答した方が23%となっている。

「仕事は変わっていない(自営等)」と回答した人と「仕事を見つけてから移住した」方をあわせると、47%となり、約半数は仕事を確定させて移住していた。そのほかの移住後に仕事を探した方も、15名中、12名(80%)は3ヶ月以内に仕事を見つけている。

「仕事をしていない(探していない)」と回答した11名中、約半数(6名)が60代以上で、そのほかは、家事専業等の方であった。

問 12 移住地として別府市に興味を持ったきっかけを教えてください。(複数選択可)

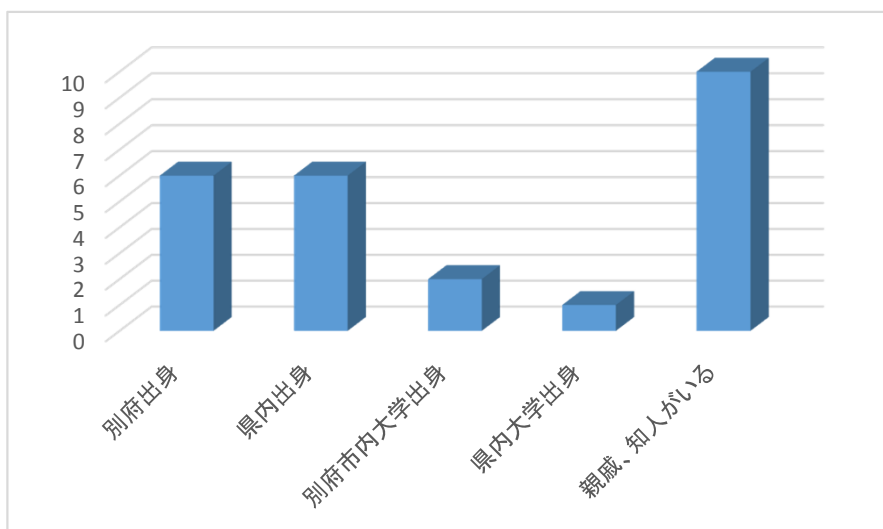
地縁	18名
観光で訪れた	16名
仕事で訪れた	4名
市民交流	7名
高齢者移住関連報道	0名
日本有数の温泉地・観光地	32名
国際交流	7名
自然環境	2名
都市機能と自然環境のバランス	15名
医療・福祉	6名
子育て環境	1名
スポーツ・芸術	6名
その他	10名



「日本有数の温泉地・観光地である」と回答した方が最も多く、49名中の32名(約65%)で次いで、「地縁」が18名(約37%)、「観光で訪れた」が16名(約33%)、「都市機能と自然環境のバランスが良い」15名(約31%)の順になっている。

問 13 【設問12】の「地縁」を選択した場合、地縁の種類を教えてください。(複数選択可)

別府出身	6名
県内出身	6名
別府市内 大学出身	2名
県内大学 出身	1名
親戚、知 人がいる	10名



地縁の種類については、「親戚、知人がいる」が最も多く10名、次いで、「別府出身」、「県内出身」がともに6名となっている。大学出身者は市内、県内あわせて3名であった。

問 14 【設問12】の「その他」を選択した場合、移住のきっかけを入力してください

「その他」の回答の中には、仕事や暮らし方に関する理由を挙げている方が見られた。

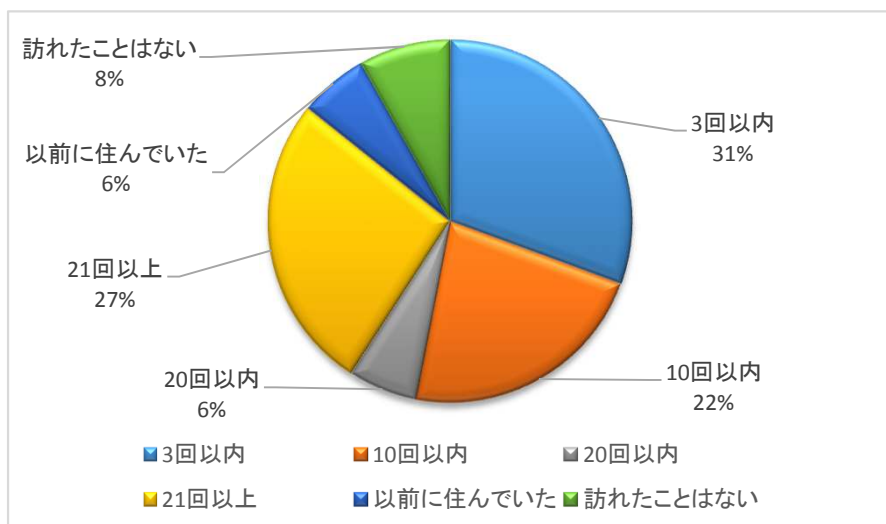
(「その他」の回答)

『付き合いっていた彼の就職先が別府だったため、二人で北海道から引っ越してきました。』
『異動を命じられた』
『就職先が別府市にあったから』
『結婚相手が別府出身であったため』
『就職して移住した。』
『就職のため』
『温泉付きの家に住みたかった。大分市から別府市に通勤していたが勤務地の近くに 住みたかった。』
『父の介護』
『魚、肉、しいたけ、和洋スイーツなど美味しい物が多い』
『旦那の地元だったので』
『別府の自然の美しさに感動したから』



問 15 移住前に何度、別府市を訪れましたか？

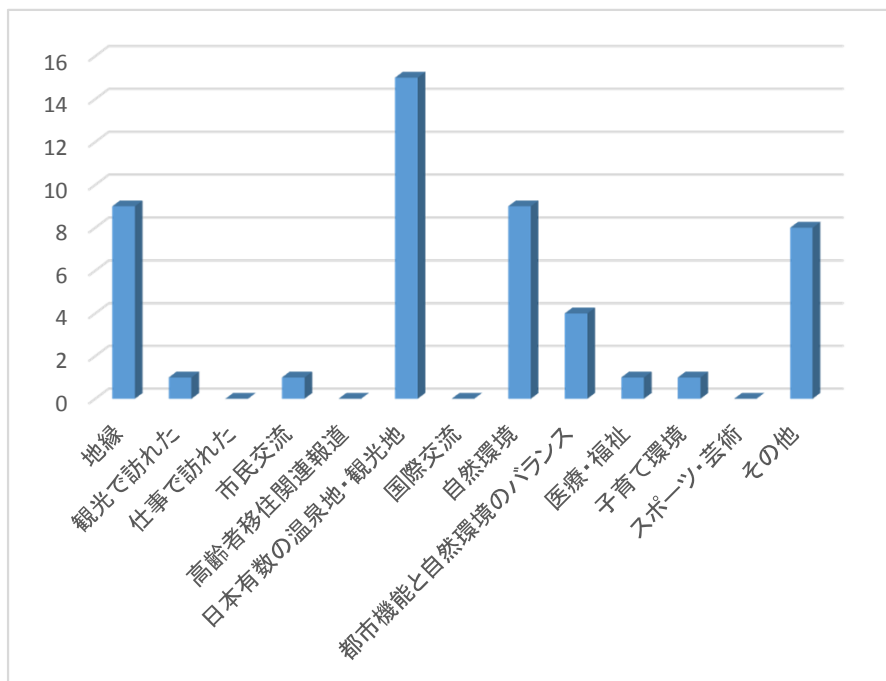
3回以内	15名
10回以内	11名
20回以内	3名
21回以上	13名
以前に住んでいた	3名
訪れたことはない	4名



移住前に別府市を訪れた回数は「3回以内」が最も多く31%、次いで「21回以上」が27%、「10回以内」22%の順であった。

問 16 移住の決め手はなんでしたか？

地縁	9名
観光で訪れた	1名
仕事で訪れた	0名
市民交流	1名
高齢者移住関連報道	0名
日本有数の温泉地・観光地	15名
国際交流	0名
自然環境	9名
都市機能と自然環境のバランス	4名
医療・福祉	1名
子育て環境	1名
スポーツ・芸術	0名
その他	8名



移住のきっかけと同様に「日本有数の温泉地・観光地である」と回答した方が最も多かったが、49名中の15名(約31%)と、割合は半分に以下に減少した。次に、「地縁」と「自然環境」が9名(約18%)で同数であった。

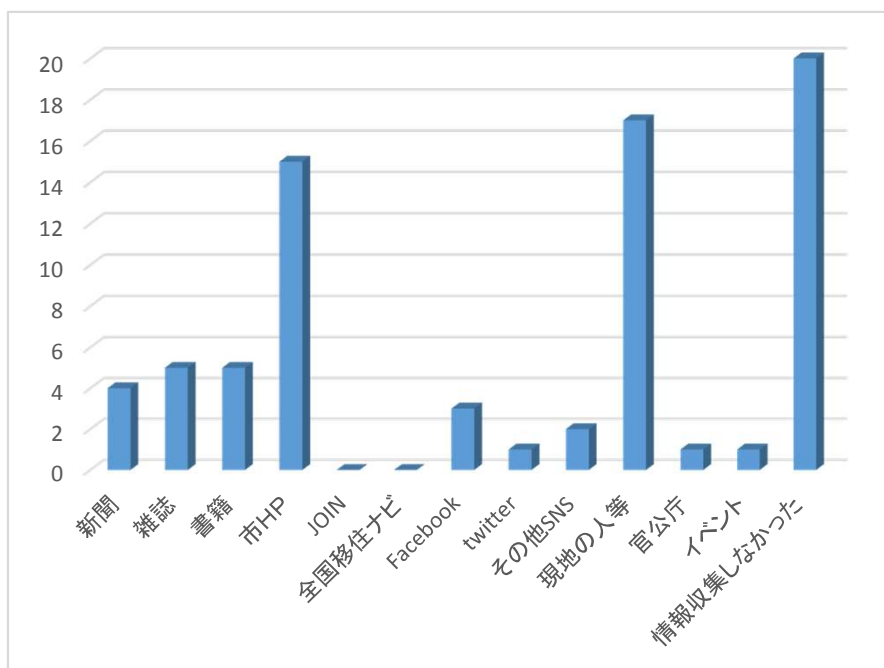
「その他」の回答としては仕事に関するものや婚姻等に関するものが見られた。

(「その他」の回答)

『異動』
『就職先があったから』
『仕事が決まったから』
『結婚相手が別府出身であったため』
『3歳までしか住んでいなかったの地縁はなかったが父の介護と墓守をするため』
『お仕事場になる大学が有るから』
『就職が決まったので』
『旦那の地元で、旦那が別府大好きだから』

問 17 移住に関する情報収集はどのようにされましたか？(複数選択可)

新聞	4名
雑誌	5名
書籍	5名
市HP	15名
JOIN	0名
全国移住ナビ	0名
Facebook	3名
twitter	1名
その他SNS	2名
現地の人等	17名
官公庁	1名
イベント	1名
情報収集しなかった	20名



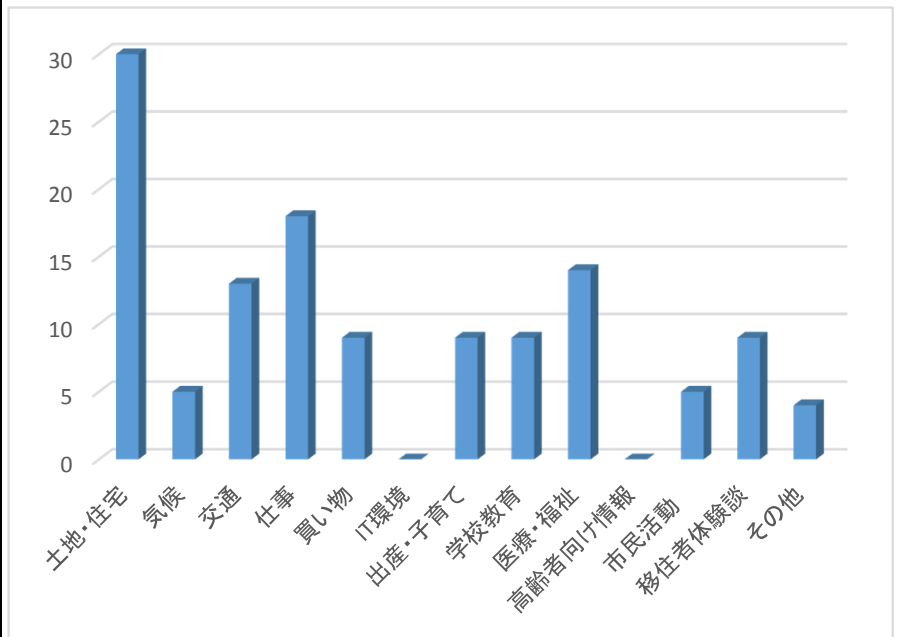
移住に関する情報収集については、「特別な情報収集はしなかった」と回答した方が最も多く20名(約41%)で、次いで「現地の人や親戚・知人」が17名(約35%)、「別府市ホームページ」が15名(約31%)となった。

問 18 【設問17】の中で、特に参考になった、雑誌やホームページ等があれば、その名称を教えてください。

『ハローワーク』や『賃貸情報が掲載されたホームページ』、『YAHOO検索』等の回答があった。その他に、個人のホームページを参考にしたという回答もあった。

問 19 移住を検討するにあたって、必要と感じた情報(行政から発信して欲しい情報)を教えてください。  
(特にそう思うもの3つ以内で選択してください。)

土地・住宅	30名
気候	5名
交通	13名
仕事	18名
買い物	9名
IT環境	0名
出産・子育て	9名
学校教育	9名
医療・福祉	14名
高齢者向け情報	0名
市民活動	5名
移住者体験談	9名
その他	4名



「土地・住宅の情報」と回答した方が最も多く30名(約61%)、次いで「仕事」18名(約37%)、「医療・福祉」14名(約29%)、「交通」13名(約27%)と続いた。

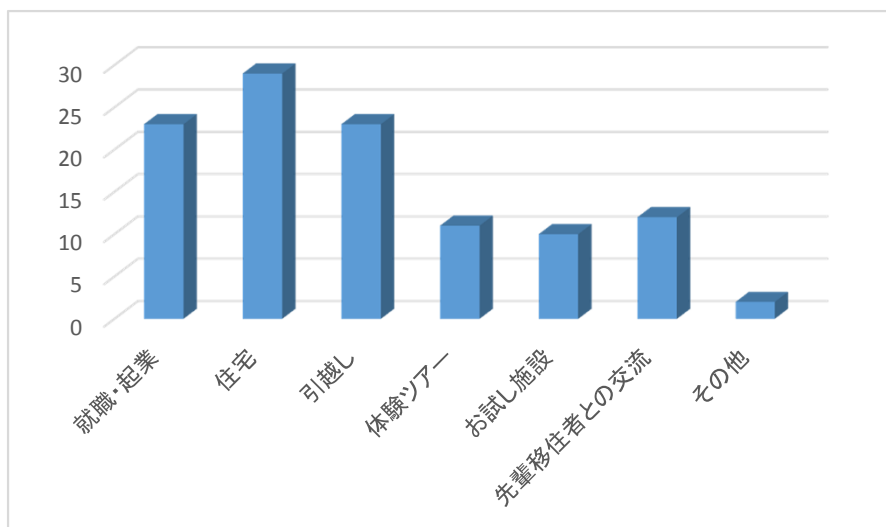
問 20 【設問19】で「その他」を選択した方は、必要と感じた情報を入力してください。

「その他」の回答には、以下のような意見があった。

『地域の住環境(静かな住宅地、近くに温泉があるなど)』
『行政が目指す移住のターゲットによって異なる。いま別府に必要なのは稼げる人材と考える。』
『地域コミュニティー』
『不動産、仕事』
『税金や年金などの負担額や公共サービス』

問 21 移住する時にあるとよい(あれば良かった)と思う支援について教えてください。  
(特にそう思うもの3つ以内で選択してください。)

就職・起業	23名
住宅	29名
引越し	23名
体験ツアー	11名
お試し施設	10名
先輩移住者との交流	12名
その他	2名



「住宅探しに対する支援(空き家の紹介)」と回答した方が最も多く29名(約59%)、次いで「就職や起業に対する支援」23名(約47%)、「引越しに係る費用の支援(引越し費用、不動産仲介手数料等)」23名(約47%)となった。

問 22 【設問21】で「その他」を選択した方は、あるとよい(あれば良かった)と思う支援を入力してください。

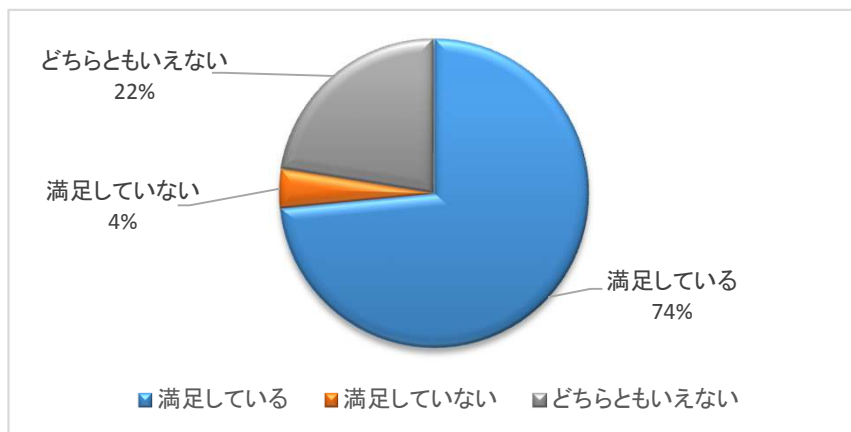
「その他」の回答には、以下のような意見があった。

『お試しで暮らせる長期滞在型(一週間から一か月程度)の宿泊施設』

『現地の住民との意見交換の場』

問 23 移住後の生活については、満足していますか？

満足している	36名
満足していない	2名
どちらともいえない	11名



「満足している」という回答が最も多く74%、次いで「どちらともいえない」が22%  
「満足していない」が4%であった。

問 24 【設問23】の理由があれば入力してください。

「満足している」と回答された方のうち、27名から以下のような意見があった。

(「満足している」と回答された方の意見)

『交通の便も程よく、買い物にも困らない。何より温泉があり好きな時に入りに行ける。』
『温泉が安い！びっくりしました』
『風光明媚。』
『暮らしやすい』
『活気づいてる感じがあり ワクワクして楽しい』
『温泉』
『海も山も近く、温泉は多いし医療施設が充実している。美味しい食べ物も多い』
『スポーツ施設が安く使える』
『旅行者や移住者、外から来た人間に対して隔たりの無い関わりかたを、地元の方が体得しているように思う。』
『街がほどよくコンパクトで暮らしやすい。出産後に気づいたが、子育てがしやすい。人が優しい。温泉がある』
『温泉に毎日入れる』
『生活するには温泉も有り、新鮮な野菜や生鮮魚も美味しく住みやすいと思います。』
『市民の方が積極的に土地を紹介してくれるため。』
『現地に足を運んで気に入った土地なので満足しています。また、自治会活動が盛んなので活気があってよいです』
『仕事も、仲間も出来たから。地域に受け入れてもらっていると感ずれる為。』
『温泉、山、海などの自然環境』
『暮らしやすい。移住者が多いせいか疎外感がない。』
『温泉が多い。街がコンパクトで住みやすい』
『毎日温泉に入れて幸せ。特に格安で掛け流しの温泉いはいれるところがいい。』
『街がコンパクトで全ての施設が近いので便利です』
『住民が親切』
『温泉』
『みんながやさしくしてくれます。』
『温泉にほぼ毎日入れる。食べ物が美味しい。海と山が見える。』
『静かで過ごしやすい』
『地域の人の協力を得ながら居住地を探すことができ、その後も良好な関係が続いている。』
『医療、介護の施設が多く、不動産もかなり安く、住み易いコンパクトな街である。』

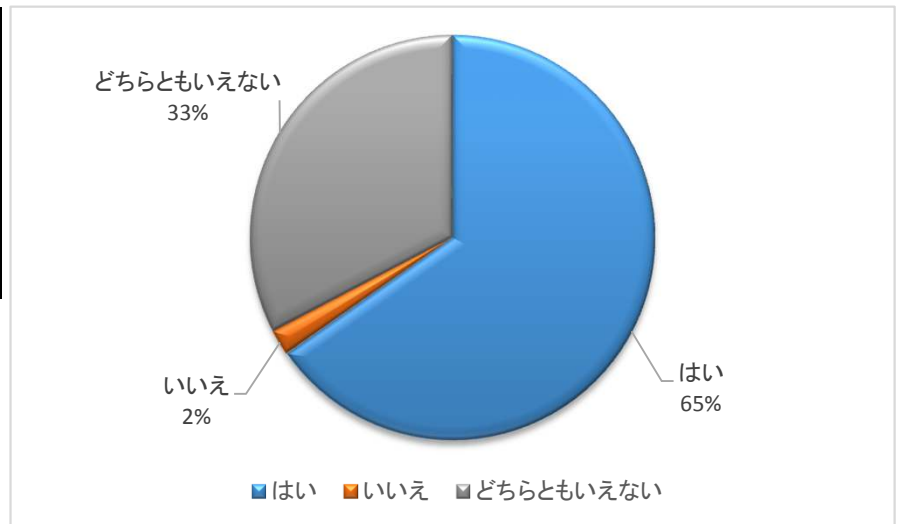
「どちらともいえない」と回答された方のうち、8名から以下のような意見があった。

（「どちらとも言えない」と回答された方の意見）

『引越しにかかる費用の支援とか豊後高田市の様な支援が充実していたら良かったと思う。』
『観光地としては良いが、土地や住居物件が高い。』
『子供のための良い学校がない』
『賃金が安い』
『仕事の賃金が安すぎる。子供に対する支援が大分市と違うことが不満です。環境は素晴らしいです。』
『毎日温泉に入れるが、仕事の職種の幅が少ない』
『大企業がなく、就職先の選択肢が非常に限られている』
『当初計画していた生活とは違ったものになってきたから』

問 25 今後(老後)も、別府市に住み続けたいと思いますか？

はい	32名
いいえ	1名
どちらともいえない	16名



「はい(今後も別府に住み続けたい)」と回答された方が最も多く65%、次いで、「どちらともいえない」33%、「いいえ」が2%となっている。



問 26 【設問25】の理由があれば入力してください。

「はい(今後も別府に住み続けたい)」と回答された方のうち、18名から以下のような意見があった。

(「はい(今後も別府に住み続けたい)」と回答された方の意見)

『温泉に入れる。美味しいお店が沢山ある。』
『田舎過ぎず、都会過ぎず住みやすい所だと思う。』
『暮らしやすい』
『住みやすい』
『やはり温泉』
『他のところに行く気がしない、別府は最高』
『安定した仕事があれば住みたい』
『暮らしやすいので(医療機関が多い、車がなくても生活できる)』
『時間をかけて満足出来る家を建てたので。』
『墓守をするため』
『良い環境(山、海、温泉)に満足』
『ひとりでも寂しくないと思うから』
『温泉があるから。』
『老後の生活なので温泉と釣りが楽しめます』
『温泉のない生活は考えられないので。』
『住み慣れた場所だから』
『別府が好きだから』
『上記の理由(移住後の満足度の理由)と同じである。』

「いいえ」と回答された方のうち、1名から以下のような意見があった。

(「いいえ」と回答された方の意見)

『竹田市へUターン予定のため』
-----------------

「どちらともいえない」と回答された方のうち、9名から以下のような意見があった。

(「どちらともいえない」と回答された方の意見)

『税金等が高い。学校区の範囲がおかしくて不便。』
『更に異動がある可能性大』
『医療機関が連携されていない。』
『両親が故郷にいる。老後が心配。』
『夫婦ともに実家が福岡にあり、定住をどうするかは検討したい。親の問題が最大。』
『やはり、賃金が低くすぎて、専門職であるが、以前の半分以下の時給である。』
『老後は住みやすそうだが、働き盛りの時は満足のいく就職先が見つかるかわからないから。』
『生活環境が安定すれば、住み続けたいと思っています。』
『良い所なので住みたいとも思うが、総合的にみるとわからないこともあるので。』

問 27 今後、別府市に移住を希望する方へのアドバイス等があれば、入力してください。

27名の方から以下のような意見があった。

『先を見越した上で子供の学区区など、移住地区を決めたほうが良い。』
『最初は知り合いもいなくてとても寂しかったです。また、熊本市内から越して来た私にとって別府はなにもない、つまらないと商店街を歩きながら思っていました。 しかし、外へ出て行くにつれてお友達もたくさん増えまちづくりにも関わる様になりました。 まちやまちづくりに関わる人を知ると別府がとてもおもしろくなりました。住んで外に出る事が別府を楽しむコツだと思います！』
『温泉好きにはたまらなく良いところですよ。色々な泉質の温泉があちこちから出ています。観光地なので選ばなければ仕事はあります！ ただ、福祉環境はいまいち。こどものいる家庭では乳幼児医療費の負担が小学生からかかります。 今後の別府市に期待です。 水族館、サファリ、ハーモニーランドなども30分くらいで行けるし夜景も綺麗。温泉を利用した地獄蒸して食べる野菜や魚介は本当に美味しいですよ！』
『風光明媚で生活環境がととのっていることに尽きる。 産業は観光以外にはない。 外国人が多い街だが、高齢化も進んでおり、両者が融合しているとはいえない』
『便利さではまだまだ不便な点もあるかもしれませんが 人が温かく親身になり、ワールドワイドでいろんな方を受け入れてくれる土地…別府 いろんなことがあって楽しい街です』
『私は県外出身で大分市から別府市へ移住しました。他県からしてみると温泉がこれほどまで身近にある事は夢のように感じました。家を建てる際に大分市内とも迷いましたが、温泉を自宅に引くことが出来る事で別府市を選びました。』
『温泉、自然環境だけでなく、医療や福祉の状況をしっかり調べてから移住した方が良いと思う』
『仕事を選ばなければいつでも別府は受け入れてくれます。地域に溶け込める人にはもってこいの場所です。是非一度別府市に来て見て交流して別府の良さを体験してください。』
『仕事に関する情報は、事前に収集しておいたほうがよい (移住後に一番苦労した点です)』
『種類の異なる素晴らしい温泉がたくさんあり、コミュニティも充実しています。』
『特になし』
『知人は積極的に勧めています。理由は病院、介護施設、買い物環境などのインフラが整っていることと、温泉です。 自分のHPやブログ、FB等で別府の良さを発信しています。 よろしかったら見てください。』
『別府は住みやすい街で様々な資源が溢れている町ではあるが、東京のように街を歩くだけで刺激がある場所ではないので、都会生活に慣れた受動的な人には向いていないと考える。 (静かに老後を過ごしたい人は別ですが・・・) 「住めば都」と達観する人より「住んだら都にする」と別府の経営資源をフル活用できる人が増えて欲しいと思います。』

<p>『別府は日本一の温泉都市です。また、留学生も多く、国際色豊かなグローバルな地域である為、刺激的な街とも言えます。現在は、インバウンドで観光業を含め経済が活性化してきています。また、古くからの温泉施設など観光名所も多く、何より、互いが助け合って生きていく市民性や、古くから異なる人が互いに、結びついてきた地域の為、すんなりと受け入れてくれる土壤があると感じます。若い方も移住が増えている為、今後ますます発展していくのではないかと感じます。』</p>
<p>『保育支援や良い小中高学校はない。でも長く住めば住むほど良いところと思われる魅力が有る別府です。新鮮な食べ物や温泉を楽しみながら老年を過ごすには最高だっと思います。』</p>
<p>『高齢者ばかりでなく、20代30代の移住者確保も積極的にして欲しい。確かに就職先の課題はありますが、場所にとらわれないクリエイター、ノマドワーカー、働き方が多様化しているので、可能性はあると思います。学生時代を別府で過ごして、第2の故郷として大切にしてくれている子が身近に意外と沢山います。帰ってきたいけど、働く場がない、、、という現実が壁になっています。働く場がないんじゃないかと、なかなか経験を活かせる業種がないということだと思っています。この辺りは私自身のテーマでもありますので、別府出来ること、自身で出来ることを考えていきたいと思っています。』</p>
<p>『別府で一週間暮らして見てください。好き嫌いがはっきりわかるとと思います。街の雰囲気や、人の温度、都会と田舎、新しいものと古いものが混雑する感じ。ぼんやりと、ここ好きだなあと感じたら別府はとても暮らしやすい土地になるとと思います。生活環境はとてもよいと思います。スーパーは沢山あるし、温泉もたくさんあるし安い。海もあって山もある。別府から出なくてもストレスなく暮らせます。ただ、多分思っているより寒いです。のんびりと暮らす人にも最適だし、何か起業したい人にも良いと思います。業種によるのかもしれませんが応援してくれる人がどこからともなく現れます。面白いことが好きな人が多いんだと思います。』</p>
<p>『坂が多いので高齢で車の運転ができなくなっても大丈夫なように公共交通の便が良くなること。ハワイのように週末の午前中等に、見知らぬ人同士でも気軽に集まってできる無料のリクリーションが別府公園や南立石公園であると良い。情報が定着すれば観光客も参加できる。』</p>
<p>『年金生活なので健康保険料を全国平均並みにして欲しい』</p>
<p>『すべての機能がコンパクトにまとまっており、生活がしやすい。イベントも多く、楽しい日々が送れる。なんといっても温泉が一番 』</p>
<p>『働きながら住もうと思うなら、月15万で暮らす覚悟と算段が不可欠です。』</p>
<p>『遊ぶところやお買い物するところは、極端に少ないですが、のんびりと過ごすには最適の市だと思います。海山の自然も沢山あり、多くの温泉があり、人も優しいです。ただ、関西から来ると、世話好きな人や人情味溢れる人や商売人気質の人が少ないので、冷たく感じることも多いです。あとやはり高齢者が多いせいか、運転が危なかったり、子供支援が少し足らなったりします。賃金もかなり低いので、働き盛りの人にとっては、自営業でない限り厳しいものがあります。もっと高齢者になれば住みやすさナンバーワンなのかもしれませんが、やはり物足りなさを感じます。』</p>
<p>『私が移住をしようとした時は、定年退職後の人の情報ばかりで若い世代の移住情報が全くありませんでした。移住するとなるとやはりまずは住むところですが仕事をそのタイミングでしてなくても借りれるところがあれば移住はしやすいと思います』</p>

『子育てにはとても良い環境だと思います。保育園の待機児童の問題もなく、非常に満足してます。温泉が気軽に入れる贅沢は、他県ではなかなか味わえないとこですね。山の幸、海の幸に恵まれ、災害もほとんどない。安心して暮らせる街だと思います。』

『すみません。別府市への移住を希望する方へのアドバイスではなくて別府市へのコメントになりますが、書くところがないのでここで書かせてください。

個人的な話ですが地方への移住を考えていた頃は雑誌『TURNS』や、伊藤洋志『ナリワイをつくる』を読んだりして自分ならどんなことを仕事にして都会とは違うらし方ができるのかと悩んでいました。たまたまネットで今の仕事の求人を見つけて、そのときにやっと別府という土地に関心が向きました。移住を決めた頃を振り返ると当時は別府についての移住情報があまりなかったように思います。いまは別府に移住してきた魅力的な人々がメディア(雑誌、webマガジン「雑型」など)に取り上げられたり、移住者が他地域との移住者と交流を重ねることで移住が促進されているような印象です。フリーペーパーの「別府移住生活」の配布で、移住に関する情報がどんどん外に向かっていくのもよいのではないかと思います。移住に関する情報発信を別府市が積極的に行っていれば、移住を検討している移住希望者に「別府に移住する」という選択肢も提案できるはず。「別府移住生活」は読み物としても楽しめ、移住なんて考えたこともない観光客も手に取っているように思います。ぜひ「別府移住生活2」を発行して、素敵な移住ライフを楽しんでいる人々をもっともっと紹介してください。こんなに魅力的な人がたくさんいる街なら住みたい、と思ってくれた人の何人かは未来の別府市民なのでしょうから。』

『別府市内でも市街地、マンション、アパート、一軒家、田舎と違って生活・自然環境等が違うので、幅広く情報を集めてみたり、実際にお試しで1ヶ月とか長く滞在してみた方がいいと思います。』

『別府市は海山の大自然に恵まれた風光明媚な住みやすいコンパクトな街です。移住で大切なことは、その土地を事前にある程度知る事であり、別府市に移住を希望される方は、何度か別府市に来ていただき、滞在して、街の様子を自分自身で確かめて下さい。

別府市は地方中都市としての 居住を含めた生活コスト、恵まれた自然環境、豊富な文化スタイル、安心して過ごす事のできる老後環境、豊富な温泉の利用等、他市町村の「田舎暮らし」とは少し違い、暮らしやすい快適な地方中都市の文化的生活を楽しむ事が出来る街ではないかと思います。

別府市に移住を希望される方へ、下記に「別府の町の様子」を分かり易く定住政策と箇条書きでまとめております。

- 1、地方都市の多様で、割安な不動産コスト
- 2、日常消費生活の適正な生活コスト
- 3、海・山の雄大な自然環境が身近にある
- 4、交通の要所である別府市の地理的な利便性
- 5、多様な豊富な文化的な生活スタイル
- 6、医療・介護の充実した多くの施設
- 7、健康増進の為、豊富な温泉の利用他

以上』